

工芸

応募点数	75点	招待作品	21点
入賞点数	7点	展示点数	93点
入選点数	65点	移は移動展出品作品	

(総評) 綺麗に整ってはいないが、野太く力強い表現に心惹かれます。そこにはこれまでの生の緻密な重層と未来へ飛翔する可能性が感じられるからです。

少し大きさに聞こえるかも知れませんが、かたちや模様の美しさや面白さを一所懸命に追い求められた末に成り立った作品は、作者自身の生きざま（それは過去や現在ばかりか将来をも見据える姿勢という「リアル（現実）」です）をじつによく伝えてくれるものです。たとえばいうと、わたしたちは作り手が「鏡」を眺めるように、自身のすべてをすみずみまで冷徹に検証したその「鏡像」を、脇からそっと静かに見ているようなものでしょう。

しかしながら、わたしたち観者が作り手の「鏡像」＝「リアル」をのぞき込もうとすると、そこに自分自身の「鏡像」＝「リアル」をも写し出すのだという意思が（はじめに気迫がどんなに強くても、それが）実行されなければ、到底作品の本質に迫ることはできません。そして、このようなことばかりが続くと、どこか食い足りないとか消化不良だといった、満たされぬ想いがわたしたちの心に常駐してしまうのです。

肝腎なことですが、当然ながら作者も作品の観者一人です。こういった鑑賞行為に自らを顧みる態度がなければ、自身の生きざまを他者に伝え得る作品の出来映えなど期待できないでしょう。今回応募された作者の皆さんには自明のことと思いますが、いま一度観るという自らの行為を振り返ってみることは、今後の制作の新たな方向性を見出す機会になるはずです。

昨年に引き続き、今回も審査を担当させていただきましたが、素材と技術によってかたちを構想して表現するという、工芸的造形の長い伝統を誇る本県ならではの意欲的な制作への取り組みに好感を深くしました。より一層の発展を期待します。

(文責 石崎 泰之／山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監)

知事賞 移

とちづくりふきうるしもりき 栃造拭漆盛器

むら やま そう たつ
村 山 創 達 (松江市)

木地の厚みとたおやかな曲面で魅せる木工技法の妙、そして木目が見せる表情がなによりも華やかです。太い脚づくりによってどこかおっとりした気分を感じさせるかたちですが、口づくりに伸びやかな鋭い稜線を見せることによって、ともすれば茫洋とした造形に墮すこともある厚手のかたちの印象を引き締まったものとしています。

(文責 石崎 泰之)

金 賞 ③

しんしゃおおぼち
辰砂大鉢

あら お ひろ ゆき
荒尾浩之 (大田市)

器全体にかけられた深紅の辰砂釉が美しい。口縁と器面にはロウ抜きによる変化が付けられ、4本のシャープな線がきわだち、力強い作風が評価された。

辰砂の赤は、銅の成分が還元焼成で作られるもので、条件により様々な赤色を生じ、中国ではその微妙な違いを呼び分けている。(文責 藤間 寛)

銀 賞 ③

しそわしぼり せきしょう
紙塑和紙貼「夕照」

うえ の ゆき み
上野幸美 (出雲市)

地元の風土を形にした作品だと思いました。宍道湖の夕日の中に、たたずむ時、祈り、やすらぎを覚えるのではないのでしょうか。それを感じさせる作品です。和紙を何枚も重ね合せ独特の色合いを醸し出しているのも魅力です。ただ、人形と台板で一作品です。この人形に合った台板を工夫すれば、さらに作品が良くなると思います。

(文責 吾郷江美子)

銀 賞 ③

しのぎ てりよくゆうおおつぼ
鎬手緑釉大壺

やま だ まさ ひこ
山田正彦 (松江市)

手びねり(ひも作り)により成形した後、力強く、流れるような螺旋状の鎬手を施し堂々とした大壺である。

緑釉を掛けて現わした釉薬の濃淡が鎬手を一層引き立てており心地良く素晴らしい。

縁造りにも強い思いが込められており緑釉、乳白釉による焼き上がりが美しい見事な作品である。

今後の作品がとても楽しみである。

(文責 福間 琇士)

銅 賞 ③

しそわしぼり でんしょう
紙塑和紙貼「伝承」

まつ もと わかこ
松本輪加子 (松江市)

ユーモラスな「どじょう踊り」で知られる民俗芸能、安来節の保存・伝承を念頭に制作された作品のようです。衣装と動作はどじょうすくい典型的なスタイルですが、ほおかぶりした手ぬぐいの豆絞りを染め上げた和紙の小さな円形を貼り付けて表現するなど、作者のじつに細やかな制作態度に好感度が高まります。立ち姿を安定させる構造と技術もすばらしい。

(文責 石崎 泰之)

銅 賞 ③

か き はくどう
花器「博動」

はた み ゆき
秦美由紀 (松江市)

手捏ねもしくは紐づくりで立ち上げた球体状の器胎に、複数の耳状のかたちを貼り付け、白土を化粧掛けした後に線刻による曲線で表面を埋め尽くしています。赤く見えるのは漆で、焼成後の器体に描いたものだそうです。陶芸と漆芸のもっとも素朴な

技法の組合せで成立した作品ですが、作り手の心象の明解な表出に力強さを感じます。

(文責 石崎 泰之)

銅 賞 ⑧

木綿手紡絵緋絵羽「春よ来い」 木下 恵理香 (出雲市)

緯糸に手紡ぎ糸を使いふんわりとした着ごちの良い作品である。春を待っている感じが花餅のデザインと赤い線がうまく表されている作品で作者のやさしさがにじみ出ている。今後の仕事に期待しています。

(文責 黒川 裕子)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
	桑象嵌飾箱	井 上 雅 洋 (出雲市)	島根工芸連盟賞
	型染屏風「伝える」	神 田 立 (松江市)	島根工芸連盟賞
⑧	硝子鑄込み夏茶碗「暁の月」	金 井 裕 子 (隠岐の島町)	島根工芸連盟賞
	縹緋鉢	内 田 和 秀 (松江市)	島根工芸連盟賞
⑧	cocochi	かわなべかおり (富山県)	島根工芸連盟賞
⑧	肥松硯箱	廣 兼 勇 (益田市)	島根工芸連盟新人賞
⑧	ビードロ釉鉢	田 中 良 汰 (大田市)	島根工芸連盟新人賞
	松造盛皿	川 西 建 次 (奥出雲町)	
	織部組鉢「秋」	森 井 博 枝 (安来市)	
	かいらぎ花器	郡 司 位 秀 (松江市)	
	透かし彫り器	森 麻 衣 (松江市)	
	貫入四方皿	松 井 祐 人 (出雲市)	
	碧海化粧飛び匏皿	高 宮 輝 好 (松江市)	
	魚文鉢	鹿 島 浩 二 (松江市)	
	茶わん	鹿 島 浩 二 (松江市)	
	寿墨壺	井 上 雅 洋 (出雲市)	
	青磁壺	富 田 幸 雄 (松江市)	
	縄文杉造器	朝 津 賢 一 (出雲市)	
	信楽蹲壺	藤 田 毅 (奥出雲町)	
	焼締茶碗	西 谷 理 奈 (奥出雲町)	
	チタン澱彩花器	常 松 年 夫 (出雲市)	
	紙塑和紙貼「家しごと」	小 村 真知子 (出雲市)	
	紙粘土彩色「収穫」	田 中 寿喜子 (出雲市)	
	紙塑和紙貼「袴着」	本 常 信 代 (松江市)	
	飴釉掛分鉢	重 見 由美子 (松江市)	
	茶盃	江 村 一 雨 (松江市)	
	灰釉皿	江 村 一 雨 (松江市)	
	紙粘土彩色「愛孫」	大 草 章 代 (出雲市)	
	黄瀬戸釉亀紋大皿	福 間 基 (松江市)	

題名	氏名	備考
伊羅保釉花入	永江 妙子 (松江市)	
淡青流線文鉢	田中 文哉 (松江市)	
夕月蛙花器	福間 達也 (出雲市)	
木彫「宍道湖七珍・スズキ」	渡部 公則 (松江市)	
木彫「アメリカン・ロブスター」	渡部 公則 (松江市)	
泥彩連山	古田 廣司 (出雲市)	
緑釉四方大皿	古田 廣司 (出雲市)	
亀甲紋青磁鉢	勝部 進 (安来市)	
鎬手水指	島根 大 (出雲市)	
市松花入	小原 敬貴 (松江市)	
黄銅板刻字額「指新修祐永水吉劭」	高橋 成和 (松江市)	
八角刷毛目鉢	西田 弘志 (安来市)	
伊羅保茶碗	森脇 凱人 (松江市)	
火櫛水指	森脇 凱人 (松江市)	
木彫「にょうばんこ」	梶岡 修 (安来市)	
木彫「カサゴ」	梶岡 修 (安来市)	
花入「佐三郎」	中祖 博志 (松江市)	
片身替鉢	板倉 清之 (出雲市)	
布目文様花器	越野 良一 (松江市)	
木彫「真鯛」	岡田 清 (松江市)	
木彫「錦・黄金鯉」	岡田 清 (松江市)	
皿「ネコの親子」	陶山 詠司 (雲南市)	
⑩ 茶碗	山崎 三仁 (大田市)	
茶器	山崎 三仁 (大田市)	
櫛黒柿小型火鉢	廣兼 勇 (益田市)	
⑩ 伊羅保釉掛け分丸皿	螺山 勝實 (浜田市)	
⑩ 緑釉長板皿	漆谷 保子 (津和野町)	
cocochi	かわなべかおり (富山県)	
⑩ 黄瀬戸果実文鉢	江戸端 実 (大田市)	
⑩ 藍染叢雲絞り「水のソナタ」	三宅 和美 (広島県)	
⑩ 塩釉窯変裂文壺	中尾 厚子 (津和野町)	
⑩ マット釉花器	駒井 珠美 (大田市)	
⑩ 塗り分け花器	和田 典丈 (大田市)	
⑩ 翁草文鉢	水上 隆 (大田市)	
ビードロ釉鉢	岡田 ひな乃 (大田市)	
ビードロ釉七寸鉢	野木 拓真 (大田市)	

招待

題名	氏名	備考
花入	長岡 住右衛門 (松江市)	
木綿経緯緋着尺	青戸 秀則 (安来市)	

題名	氏名	備考
木綿絵羽「想ひ出」	青戸 柚美江 (安来市)	
白磁面取り壺	石飛 勝久 (雲南市)	
布張溜塗角盆「DOG U」	石村 稔 (松江市)	
だ円鉢	多々納 真 (出雲市)	
櫛造拭漆盛器	濱田 幸介 (松江市)	
⑩ 八角ネズミ皿	福郷 徹 (益田市)	
櫛菱花長方盆	野白 千晴 (安来市)	
⑩ 型絵染帯	黒川 裕子 (江津市)	
省胎七宝鉢「爽」	松本 三千子 (松江市)	
木彩「花綴り」	藤原 正 (出雲市)	
⑩ 研出色絵盛器「生彩」	高橋 香葉 (松江市)	
⑩ 鐘形花象嵌葉書箱	深田 学 (雲南市)	
鉄釉湧昇文鉢	柳楽 勝重 (出雲市)	
スリップウェア大皿	福間 琇士 (松江市)	
⑩ 沈泥彩陶筥	犬山 卓也 (出雲市)	
広瀬緋着物「光柱」	永田 佳子 (安来市)	
栗花入	渡部 良和 (雲南市)	
緑鉄釉手付壺	船木 研兒 (松江市)	遺作
木ノ葉天目茶碗	秦 良次 (安来市)	遺作